



平成 29 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 ダイナパック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄
 (コード: 3947 東証・名証第 2 部)
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画本部長 草野 雅夫
 (電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 8 日に公表しました平成 29 年 12 月期 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 29 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正
 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	23,000	300	360	240	24 円 29 銭
今回修正予想 (B)	23,800	540	760	1,070	108 円 26 銭
増 減 額 (B-A)	800	240	400	830	—
増 減 率 (%)	3.5	80.0	111.1	345.8	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	21,657	348	586	415	42 円 09 銭

(注) 当社は平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株に併合しております。前期第 2 四半期の 1 株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	48,000	1,060	1,210	890	90 円 08 銭
今回修正予想 (B)	49,700	1,060	1,370	1,920	194 円 26 銭
増 減 額 (B-A)	1,700	—	160	1,030	—
増 減 率 (%)	3.5	0.0	13.2	115.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	46,592	1,017	1,432	1,145	115 円 98 銭

(注) 当社は平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株に併合しております。前期の 1 株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

平成 29 年 12 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正
(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	16,800	100	280	220	22 円 27 銭
今回修正予想 (B)	17,200	300	590	1,000	101 円 18 銭
増減額 (B-A)	400	200	310	780	—
増減率 (%)	2.4	200.0	110.7	354.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	16,475	149	428	399	40 円 40 銭

(注) 当社は平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株に併合しております。前期第 2 四半期の 1 株当たり四半期純利益につきましては、前会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

平成 29 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正
(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	34,800	450	650	490	49 円 59 銭
今回修正予想 (B)	35,600	450	720	1,470	148 円 73 銭
増減額 (B-A)	800	—	70	980	—
増減率 (%)	2.3	0.0	10.8	200.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	34,306	479	811	1,052	106 円 58 銭

(注) 当社は平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株に併合しております。前期の 1 株当たり当期純利益につきましては、前会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

2. 修正の理由

(平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想および個別業績予想)

売上高につきましては、国内、海外ともに堅調に推移しました。

営業利益につきましては、売上高の増加のほか中国をはじめとする取引条件の見直しが見直しに繋がり、経常利益につきましては配当金収入などの増加も寄与したため、各々当初の予想を上回りました。

また、四半期純利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益（特別利益）を計上したことにより大幅に予想を上回りました。

(平成 29 年 12 月期通期の連結業績予想および個別業績予想)

売上高につきましては、引き続き堅調に推移するものとみております。

営業利益につきましては、第 3 四半期以降の原燃料価格や運送コストの上昇等も想定されるため、通期収益としては当初予想を据え置いております。

経常利益につきましては、この営業利益の予想に加え第 2 四半期までの営業外収益の増加を反映しております。

また、当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第 3 四半期における投資有価証券売却益（特別利益）の計上を見込んでおります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上